

東部おおさかの地場産業!!

PR

安心を届ける

脚もとすっきり!

耐震 サンアジャストボルト

大切な生命
大事な設備
安いコストでお守り下さい



SPシリーズ

特許：No. 5128145号

NonBuren

特長

- 非常に優れた耐油性を兼ねた耐震材
- 他の部材に比べて格段に高い衝撃吸収性
- 屈曲や引裂にも抜群の強さを発揮

製造元 サンファスナー部品株式会社

サンファスナー 検索 URL : <http://www.ajastsun.co.jp>
E-mail : sunajast@lily.ocn.ne.jp

TEL:06-6745-9095 フリーダイヤルFAX:0120-08-9095

備えあれば憂いなし

大切な機械設備を地震から守ります



サン・ファスナー部品は機械設備の設置時にレベル調整を行う国産品の「アジャストボルト」を製造販売している。

同社の主力製品である「耐震サンアジャストボルトSPシリーズ」は日本列島を揺るがす昨今の地震に対応すべく、企業向けの地震対策用に開発された。

同製品の特徴は台座部に自己粘着性のある防振材「ノンブレン」(枚方技研)が床面との固定を行う。ノンブレンは新幹線「レールスター号」の床下防振から半導体製造装置などの精密機械の防振から耐震まで、さまざまなシーンで活躍する耐震材である。その素材を活用し特許を取得した製品がSPシリーズになる。

2017年5月に設立30周年を迎えた同社は「備えあれば憂いなし」をテーマに、「大切な生命・大事な設備・安いコストでお守り下さい」をコンセプトにモノづくりに取り組み、顧客からの厚い信頼を得ている。

微小部品のめっき = バレル...?

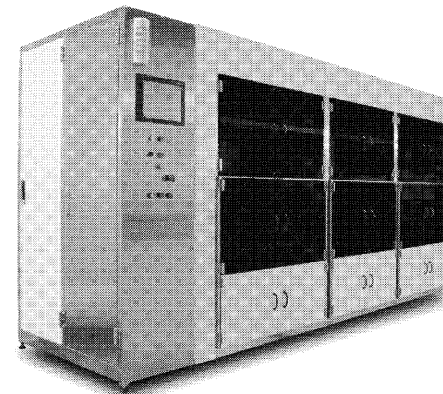
- ワークの入れ替え作業
- 異種混入
- 無めっき・発泡等
- Snめっき処理時 製品同士のくっつき
- めっき膜厚のバラツキ
- 乾燥工程
- 薬液の持込・汲み出し

現行バレル方式だと上記の問題がありますね!
当社新規開発(特許申請済み)の

HCRV方式なら...

上記の問題をすべて解決!!

更に製品の投入から排出までを完全自動化しめっき処理の無人化ラインを形成することも可能です。



株式会社 島谷技研
金属表面処理装置 設計・製作

本社工場：〒581-0033 大阪府八尾市志紀町南2丁目127番地
TEL 072-920-2401 FAX 072-920-2402
<http://www.shimatanigiken.co.jp>
E-mail: shimatanigiken@shimatanigiken.co.jp

多様な表面処理装置に対応

HCRV方式で課題解決



ラック式 自動電解めっき装置
水切乾燥インライン型

島谷技研は、1978年創業以来メッキ・表面処理装置の設計・製作を行う。電解・無電解メッキ、化成処理、陽極酸化処理などの装置を顧客の要望に合わせてオーダーメイドする。処理する対象は自動車部品、プリント基板、半導体用ウェハー、重電設備用の大型部品、リチウムイオン電池の筐体(きょうたい)、タッチパネル用フィルム製造装置のロール部品など、さまざまに対応している。

近年、電子回路基板の小型化に伴ってチップ状電子部品(セラミックコンデンサー、抵抗、インダクターなど)の需要が増加しているが、これら対象物への電解メッキを行う装置として、従来から主にバレル方式のメッキ装置が使われている。

ただ、同方式では多くの課題(ワークの入れ替え作業、異物混入、無メッキ、スズメッキ処理時製品同士の結合、メッキ膜厚のバラツキ)もあるが、同社が開発したHCRV方式(特許申請済み)であれば、これらの課題を解決できるとしている。